

法大生の代表!

鈴木たつおを (弁護士) 国会へ!

新宿駅東南口で訴える鈴木たつお弁護士(6月12日)

法大弾圧と闘い無罪を獲得!

＜文化連盟委員長・武田雄飛丸の訴え＞

6月22日から始まる参院選挙で、法大闘争とともに闘う弁護士・鈴木たつおさんを応援します。安倍政権が就任以来行ってきた「戦争と貧困」を強制する政治に対して「NO」を突きつける一大決戦です。

安倍政権の発足以来、特定秘密保護法や派遣法の改悪、戦争法が施行されました。さらに労働基準法の改悪と憲法改悪が狙われています。「戦争と貧困」を強制する安倍政権を今こそ倒す時です。

安倍政権を支えているのは自民党だけではありません。民進党や共産党などあらゆる既成野党は、改憲や労働基準法の改悪に対し、「立憲主義守ろう」とお茶を濁して、



労働者にストライキと呼びかけず、対案や修正案の提出に終始しています。

「野党共闘」で安倍政治に断を下せますか? 「第二の自民党」である民進党と手を組んで「野党共闘」を絶対反対で闘う労働者の新たな政党が今こそ必要です。安倍政権を積極的に支持している人はほとんどいませんが、未だに政権の座にいる。野党の屈服が安倍政権を延命させています。実際に、国会の中に「野党」と呼べる人間がいますか? 一番

ひどいのが民進党です。民進党は綱領で改憲と日米安保の強化を掲げています。「第二の自民党」です。民進党は参院選では「改憲阻止」を掲げている。まさに茶番です。

(裏面へ続く)

文化連盟

法政大学文化連盟(武田雄飛丸委員長)

【メール】 bunren08@yahoo.co.jp 【HP】 <http://08bunren.blog25.fc2.com/>

共産党はどうでしょうか？「消費税8%」に対しては口先だけ反対と言っていたにも関わらず、今や「8%のまま」と主張しています。社民党は「5%に戻せ」です。そういう問題じゃないですよ。「1%」の資本家と「99%」の労働者民衆がなぜ同じ額の税金を払わなければならないのか。消費税は全廃以外にありません。鈴木たつお候補は消費税全廃を掲げる唯一の候補です。

表向きでは「戦争反対」「天皇制反対」「日米安保反対」を掲げていた日本共産党は、民進党との「野党共闘」を進めていく中で、今年戦後初めて国会の開会式に出席して天皇に頭を垂れました。

6月5日の国会前集会で民進党は「私たちこそが真の保守だ」と発言しました。共産党は「私たちの新綱領が受け入れられていない。共産党は日米安保に反対してない。天皇制に反対してない。自衛隊も容認している」と発言しました。結局、どいつもこいつも安倍政権に対する「大同団結」を大義名分にして安倍政権に迎合し、「戦争と貧困」の政治＝資本主義体制を延命させようとしている。これが今の政治の現実です。

だからこそ私たちは、総翼賛と化した国会に何としても「絶対反対」で闘う鈴木たつおさんを送り出したい！鈴木たつお候補の主張は明快です。「ゼネラルストライキで安倍政権を倒そう」「職場・キャンパスからストライキに立ち上がろう」「労働運動・学生運動の力で革命やろう」—これが私たちの訴えです。

共産党は今や「私たちは国民の党だ」と言ってます。「1%」の資本家たちとも手を組むということです。

しかし今、本当に必要なのは「99%」の労働者民衆の党ではないでしょうか？ 舛添都知事や甘利元大臣のように金権腐敗にまみれている安倍政権と、労働者・学生のあいだに共通する利害なんて1ミリもありません。

自民党は「ウソつかない。TPP断固反対。ブレない」を掲げて政権の座につきました。しかし政権の座についた途端に日本経団連の言いなりになって、経済界の利益しか考えていない。これが自民党や民進党のあり方です。こういう連中と手を組む「野党共闘」に私たちの未来はありません。

「選挙の時だけいいことを言う」、あるいは「選挙の時だけ私たちが政治に関わる」。こういうあり方そのものを変革していかなければいけません。労働者が職場で使い潰され、学生も大学でビラ一枚まけない。政治について考える時間も徹底的に奪われていく。こういう政治が今の世の中を変質させたのだと思います。

フランスや韓国、世界中で労働者・学生がデモやストライキに立ち上がっています。フランスでは、社会

「鈴木たつおさんを応援します！」 都内大学に通う女子学生(1年生)のアピール

私は時給950円の飲食店でバイトしています。新聞の配達もやっていますが、生活はとても苦しいです。時給のいい深夜のバイトを探そうかとも思っています。大学で勉強したくても疲れて体がついていかず、友達もできません。

バイト先には私よりも大変な暮らしをしている先輩方がたくさんいますが、みんな政治に期待していません。そもそも政治家の言っている言葉が分からないし、自分たちには無縁だからです。

選挙に行くつもりはありませんでした。でも鈴木さんのような政治家が増えたら少しずつ変わると思いました。他の政治家と違って、働く人たちが政治に参加することを大切にしていると感じたから応援しています。

党連立政権が労働法の改悪を強行しました。日本共産党が言っている「国民連合政府」構想も全く同じです。安倍政権と既成野党の裏切りに対して、私たちの力でまったく新たな労働者の政党をとらにつくりましょう。

